枇杷島製造部機材ニュース

機材264-271号
2023年 4月21日

件名：コードヒータ式ドレンパンヒータ品番変更の件

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
頭書の件、ドレンパンヒータの品番を変更しましたので関係者へのご連絡をお願申し上げます。　了

記

1. 変更内容
・コードヒータの仕様変更（被覆レス化/取付経路変更）に伴う品番変更

新品番		旧品番
HA08067	←	HA07282A
HA08068	←	HA07281A
HA08069	←	HA07710A
HA08070	←	HA07283A

2. 変更時期
・2023年2月頃に実施済

2023年度発売機種への対応について
・新品番は下記新機種に対応しております。適用機種と品番は下表をご参照ください。
※新機種対応版の取付説明書はランニングチェンジでの変更となりますので、
製品に付属している取付説明書は旧機種対応の場合がございます。
※新機種対応版の納入仕様書及び取付説明書はMTH冷熱製品サイトに掲載。（本紙にも添付）

＜新機種型式＞		＜適用新品番＞
FDCVP805HB	……	HA08067
FDCVP2245H, P2805H	……	HA08068
FDCZP2245H, P2805H	……	HA08068

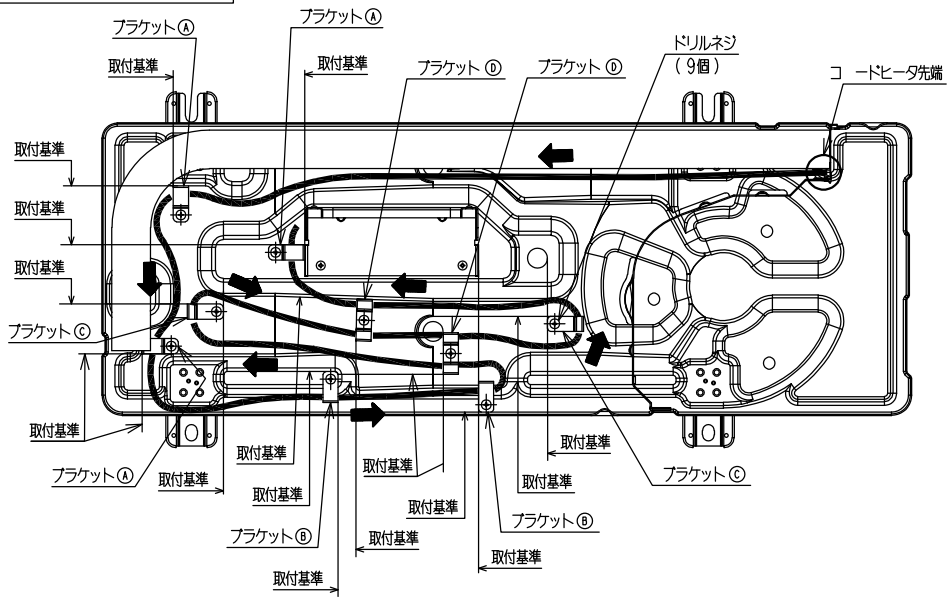
2023機材カタログ（P88）より抜粋

適用機種			品番	ヒータ容量(W)	ヒータ種類	ヒータ制御	ヒータ電源
FDC	Z P40～P63 V P40～P63 V P80	5A形 5A形 5B形	HA08067	115	コードヒータ	ヒータ付属サーモによる	室外ユニット電源端子台（別電源不要）
FDC	Z P80～P280 V P224,P280	5形 5形	HA08068	115	コードヒータ	室外機制御基板CNF（ZP80はCNI1）の外温サーモ信号による	不要
	V P112～P160	5A形	HA08069				
FDC	P112～P160	4LXJ形	HA08070	115	コードヒータ	ヒータ付属サーモによる	室外ユニット電源端子台（別電源不要）
FDC	P224,P280	4LXYB形	HA07285（注3,5）	330	シーズヒータ	室外機制御基板CNN4の外温サーモ信号による	
FDC	P280～P1500	5LXB形	HA07284（注4,5）	80	アルミ箔ヒータ		

・添付資料（新機種対応版）
納入仕様書（HA08067,HA08068,HA08069,HA08070）
取付説明書（HA08067,HA08068,HA08069,HA08070）

以上

ドレンパンヒータ組込図

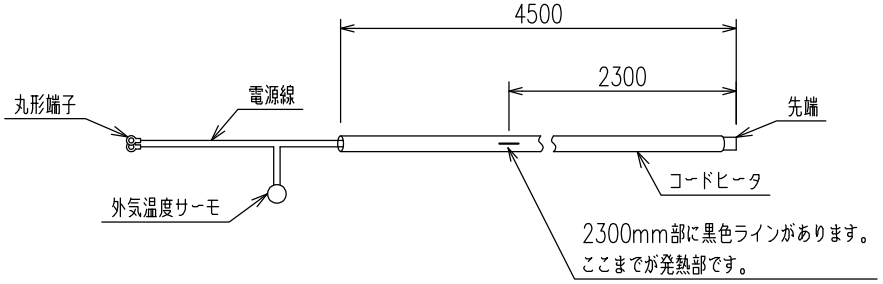


付属品

コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	ブラケットⒺ	インシュレーション	板クランプ
1個	3個	2個	2個	2個	1個	1個	1個

ドリルねじ	タッピンねじ	バンド	注意銘板	取付説明書
12個	M5×10 2個	10個	1枚	1枚

ドレンパンヒータ外形図



適用機種

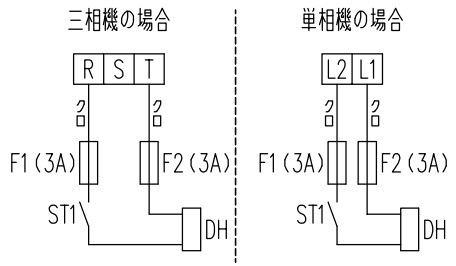
FDC Z P40~P63 5H,5HA
V P40~P63 5H,5HA
V P80 5HB

※適用機種はマイナーチェンジ等により異なる場合がありますので、カタログでご確認ください。

ドレンパンヒータ仕様

1.定格電圧：200V 50/60Hz
2.定格容量：115W
3.保護ヒューズ：3A 250V
3.ON−OFF動作
ヒータは外温サーモが2℃以下で通電し、8℃以上でOFFします。

電気配線図



ST1	外温サーモ（ON 2℃ OFF 8℃）
DH	ドレンパンヒータ

注意事項

- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
  また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御（寒冷地対応）を適用してください。
- 取付前に取付説明書をよくお読みください。

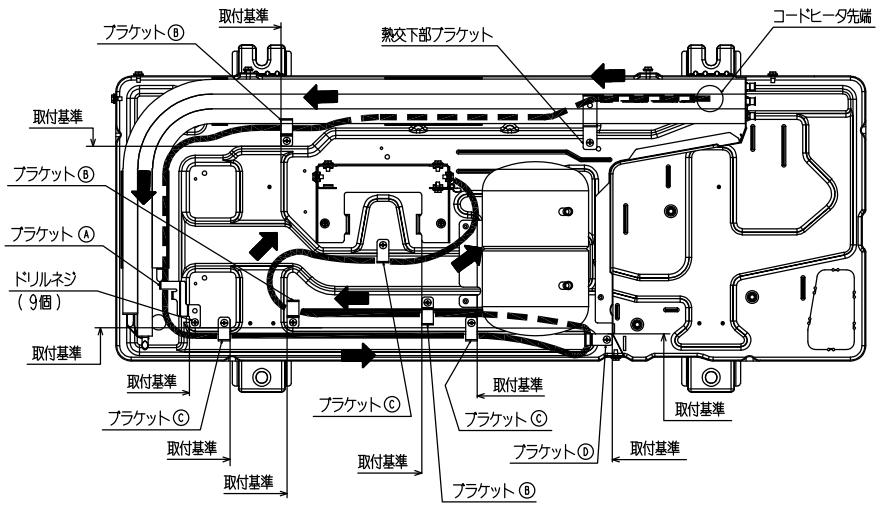
訂符 MARK	訂番 REV.NO.	認可年月日 DATE	認可 APPD.
A	XKA-0946	23.03.28	堀尾

認可 APPD.	点検 CHKD.	作成 DRAWN
堀尾 23年02月03日	堀尾	矢動丸

尺度 SCALE：
形式 MODEL 表記
品番 CODE NO. HA08067
名称 NAME ドレンパンヒータ
図番 DWG.NO. XK63002
品別 SUFFIX ～
訂符 REV.MARK A
葉別 PAGE 1/1
葉別毎サイズ
三菱重工冷熱
参考部番 REF.PART NO.
A3

ドレンパンヒータ組込図

（代表）FDCZP224,P280 5H、FDCVP224,280 5Hの場合



適用機種

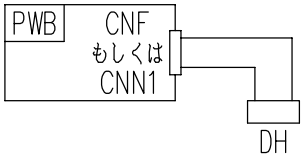
FDC Z P80~P280　　5H
　　V P80,224,280　　5H

※適用機種はマイナーチェンジ等により異なる場合がありますので、カタログでご確認ください。

ドレンパンヒータ仕様

1. 定格電圧：200V 50/60Hz
2. 定格容量：115W
3. ON−OFF動作
   ヒータは室外機制御基板からの電源により以下のようにON−OFFします。
   ON条件・・・暖房モードかつ外気温3℃以下かつ圧縮機運転中。
   OFF条件・・・外気温5℃以上または圧縮機停止時間が30分連続した時または
   冷房・除湿モード。

電気配線図



CNF もしくは CNN1	制御基板ドレンパンヒータ用コネクタ
DH	ドレンパンヒータ

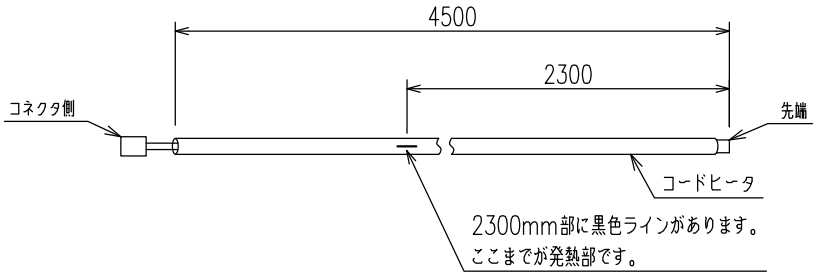
付属品

コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	熱交下部ブラケット	板クランプ	ドリルねじ
1個	3個	3個	3個	1個	1個	1個	11個
バンド	**注意銘板**	**取付説明書**					
10個	1枚	1枚					

注意事項

- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
  また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御（寒冷地対応）を
  適用してください。
- 取付前に取付説明書をよくお読みください。

ドレンパンヒータ外形図

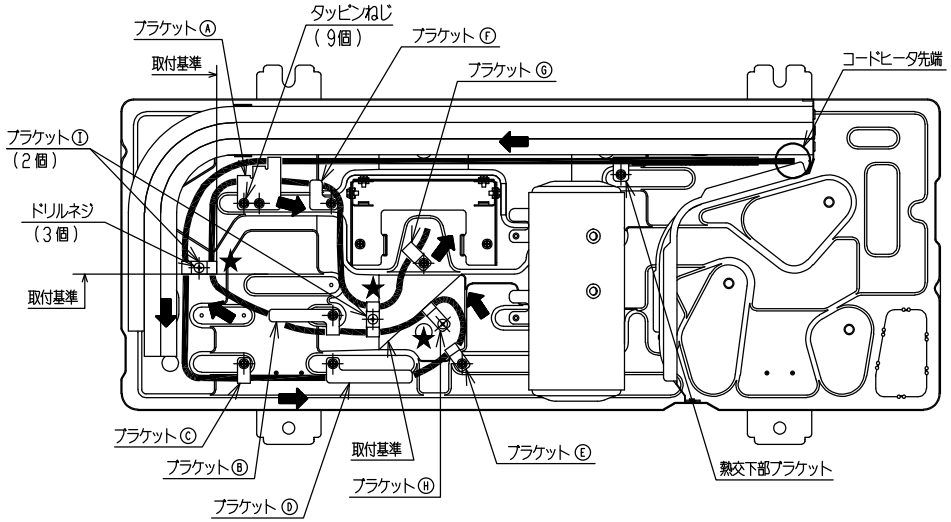


A	XKA-0946	23, 03, 28	堀尾	尺度 SCALE :	形式 MODEL 表記	品番 CODE NO. HA08068
訂符 MARK	訂番 REV.NO.	認可年月日 DATE	認可 APPD.	名称 NAME	ドレンパンヒータ	
認可 APPD. 堀尾 23年 01月 12日		点検 CHKD. −	作成 DRAWN 矢動丸	図番 DWG.NO. XK63003	品別 SUFFIX ~ / 訂符 REV.MARK A / 葉別 PAGE 1/1	葉別毎サイズ

三菱重工冷熱　参考部番 REF.PART NO.　A3

No.4−改F

ドレンパンヒータ組込図



適用機種

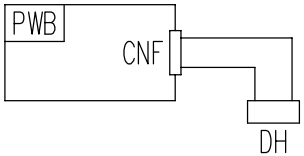
FDC V P112~P160　5HA

※適用機種はマイナーチェンジ等により異なる場合がありますので、カタログでご確認ください。

ドレンパンヒータ仕様

1. 定格電圧：200V 50/60Hz
2. 定格容量：115W
3. ON−OFF動作
   ヒータは室外機制御基板からの電源により以下のようにON−OFFします。
   ON条件 ・・・暖房モードかつ外気温3℃以下かつ圧縮機運転中。
   OFF条件・・・外気温5℃以上または圧縮機停止時間が30分連続した時または
   冷房・除湿モード。

電気配線図



CNF	制御基板ドレンパンヒータ用コネクタ
DH	ドレンパンヒータ

付属品

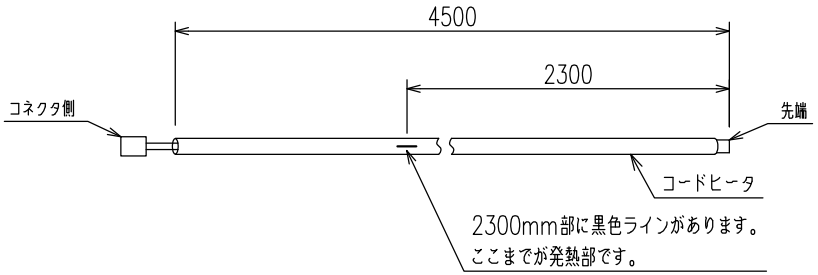
コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	ブラケットⒺ	ブラケットⒻ	ブラケットⒼ
1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個

ブラケット①	ブラケット①	熱交下部ブラケット	タッピンねじ	ドリルねじ	バンド	注意銘板	取付説明書
1個	2個	1個	M5×10 9個	3個	10個	1枚	1枚

注意事項

- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
  また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御（寒冷地対応）を
  適用してください。
- 取付前に取付説明書をよくお読みください。

ドレンパンヒータ外形図



訂符 MARK	訂番 REV.NO.	認可年月日 DATE	認可 APPD.
A	XKA-0946	23, 03, 28	堀尾

尺度 SCALE	形式 MODEL	品番 CODE NO.
:	表記	HA08069

名称 NAME：ドレンパンヒータ

認可 APPD.	点検 CHKD.	作成 DRAWN
堀尾 23年02月03日	堀尾	矢動丸

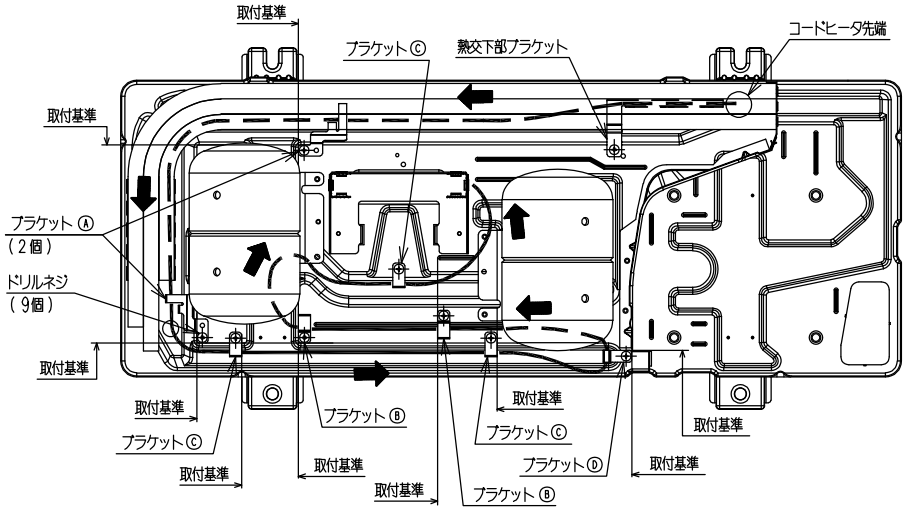
図番 DWG.NO.：XK63004　品別 SUFFIX：～　訂符 REV.MARK：A　葉別 PAGE：1/1　葉別毎サイズ

三菱重工冷熱　参考部番 REF.PART NO.　A3

No.4−改F

ドレンパンヒータ組込図

（代表）FDCVP2244,2804H、FDCVP2244,2804HSXの場合

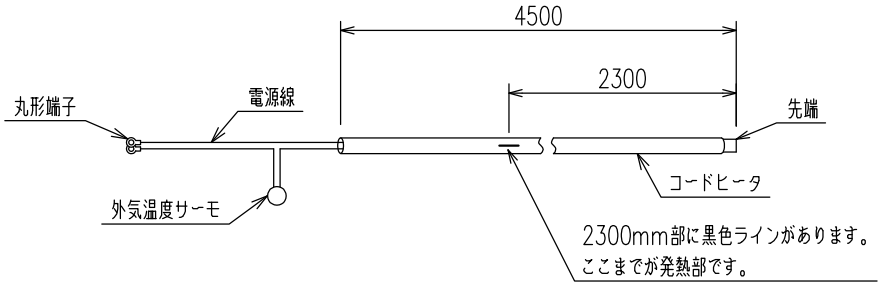


付属品

コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	ブラケットⒺ	熱交下部ブラケット
1個	2個	2個	3個	2個	1個	1個

インシュレーション	板クランプ	ドリルねじ	タッピンねじ	バンド	丸形端子	注意銘板	取付説明書
1個	1個	12個	2個	10個	(M6) 2個	高温注意 1枚	1枚

ドレンパンヒータ外形図



適用機種

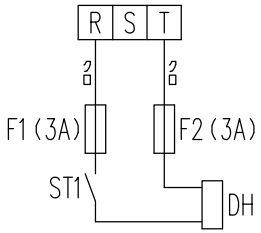
FDC　P112~P160 4HLXJ
　　VP224,P280 4HSX
　　VP224,P280 4H
AUCVP140 4HA

※適用機種はマイナーチェンジ等により異なる場合がありますので、カタログでご確認ください。

ドレンパンヒータ仕様

1.定格電圧：200V 50/60Hz
2.定格容量：115W
3.保護ヒューズ：3A　250V
3.ON−OFF動作
　ヒータは外温サーモが2℃以下で通電し、8℃以上でOFFします。

電気配線図



ST1	外温サーモ（ON 2℃　OFF 8℃）
DH	ドレンパンヒータ

注意事項

- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
  また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御（寒冷地対応）を適用してください。
- 取付前に取付説明書をよくお読みください。

訂符 MARK	訂番 REV.NO.	認可年月日 DATE	認可 APPD.
A	XKA-0946	23,03,28	堀尾

認可 APPD.	点検 CHKD.	作成 DRAWN
堀尾 23年01月12日	−	矢動丸

尺度 SCALE：　形式 MODEL 表記　品番 CODE NO. HA08070

名称 NAME：ドレンパンヒータ

図番 DWG.NO. XK63005　品別 SUFFIX ~　訂符 REV.MARK A　葉別 PAGE 1/1　葉別毎サイズ

三菱重工冷熱　参考部番 REF.PART NO.　A3

MA01127 A

ドレンパンヒータ取付説明書

品番	適用機種
HA08067	FDCZP40～63 5H,5HA FDCVP40～63 5H,5HA FDCVP80 5HB

※取付前に本説明書をよくお読みください。

取付工事は、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

・ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠ 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります

・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、本書はお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

・取付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事部品は必ず付属品および指定の仕様部品を使用してください。
指定の仕様部品を使用しないと、ユニットの落下・水漏れ・感電・火災などの原因になります。
・電気工事は、電気工事士の資格のある方が電気事業法・電気設備に関する技術基準・内線規程JEAC8001（最新のもの）および取付説明書に従って施工し、電線の継ぎ足しはしないでください。
施工不備があると、感電・火災などの原因になります。
・漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電・火災の原因になります。
・電気部品に触れる前に電源を遮断してください。
充電部に触れると、感電の危険があります。
・室内外ユニット間および電源の配線は、サービスふたなど構造物が浮き上がらないよう電線を整形し、ふたおよび外板を確実に取付けてください。
ふたおよび外板の取付けが不完全な場合、感電・火災などの原因になります。
・配線は、所定の電線を使用し、端子接続部に電線の力が加わらないよう確実に接続・固定してください。
接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災などの原因になります。
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
感電などの原因になります。

⚠注意

次のような場所への設置は行わないでください。
・鉱物油が立ち込めたり、調理場など油の飛散や蒸気の多い場所
樹脂部品が劣化し、部品の落下や水漏れの原因になることがあります。
・亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所、酸・アルカリ性蒸気の立ち込める場所および海兵地区など塩分の多い場所
銅管・ろう付部が腐食し、冷媒もれの原因になることがあります。
・電磁波を発生する機械がある場所および工場など電圧変動の多い場所
制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
・可燃性ガスのもれるおそれのある場所、カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊する場所、シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取扱う場所および車両・船舶など
万一ガスがもれてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
・小動物のすみかになるような場所、落ち葉が堆積する場所および雑草が生い茂る場所
侵入した小動物が内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

取付前に

・本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
・降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御(寒冷地対応)を適用してください。
・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよびドレン集中排水キットとの併用はできません。
・漏電遮断器が取付けてあることを必ず確認してください。
漏電遮断器が取付けられていないユニットでの本製品の使用はできません。
・漏電遮断器は必ず高調波対応品を使用してください。
（本機はインバータ装置を備えています。漏電遮断器自体の誤作動を防止するため高調波対応品を使用してください。）

1. 部品の確認

下記の付属品が必要数同梱されていることをご確認ください。

コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	ブラケットⒺ	ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝ	板クランプ
1個	3個	2個	2個	2個	1個	1個	1個

ドリルねじ	タッピンねじ	バンド	注意銘板	取付説明書
12個	M5×10 2個	10個	1枚	1枚

2. 取付準備

※ドレンパンヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行っていただく方が容易にできます。
室外ユニット本体の据付説明書もあわせて参照してください。

・室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
・ドレンパンヒータ取付け部は、ホコリ、ゴミ、水分等の除去を充分に行ってください。
・熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ドレンパンヒータ組込準備

次の手順で図1に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。
取外した部品は損傷させないように、また固定ねじは紛失しないように保管してください。
（図1はFDCVP405Hを示します。
他機種の場合も同様に取外してください。）

①サービスパネルの取外し
サービスパネル取付ねじを外し、下側にスライドさせてから取外してください。
②トップパネルの取外し
トップパネルの取付ねじを外し、上側に持ち上げて取外してください。
③フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ねじを外し、前側に引き出して取外してください。
④プロペラファンの取外し
プロペラファンのナットを外し、前側に引き出して取外してください。

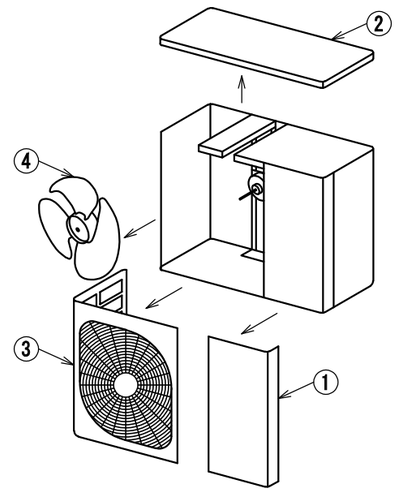


図1

（裏面へ）

4. ドレンパンヒータの取付け

①ヒータの仕様

・AC200V 115W

・全長4.5mのうち発熱部は先端から2.3mまで

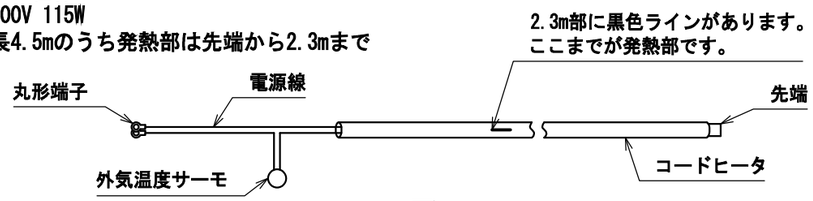


図2

・ON-OFF動作（参考）
ヒータは外気温度サーモが2℃以下で通電し、8℃以上でOFFします。

②ヒータの取付け

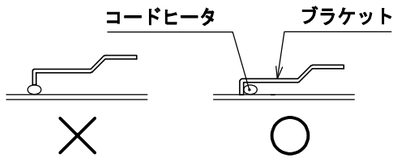
・コードヒータをレイアウト図（図3）に従って➡で示す経路で取付けてください。
ガムテープ等でコードヒータを仮止めしながらの作業をお奨めします。

・コードヒータの先端を熱交換器と仕切り板の隙間の奥まで差し込み、熱交換機の最下端に接するように沿わせてコードヒータを配置します。

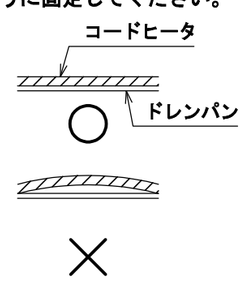
・以後、図3に示す位置にドリルねじを使用して付属ブラケットでコードヒータをドレンパンに固定します。

⚠注意

(1) ブラケットは下図のようにコードヒータをはさまないようにコードヒータを固定してください。



(2) 平面部がドレンパンに触れるように固定してください。



(3) 曲げ部分では、平面部で固定し易いようにひねって固定してください。

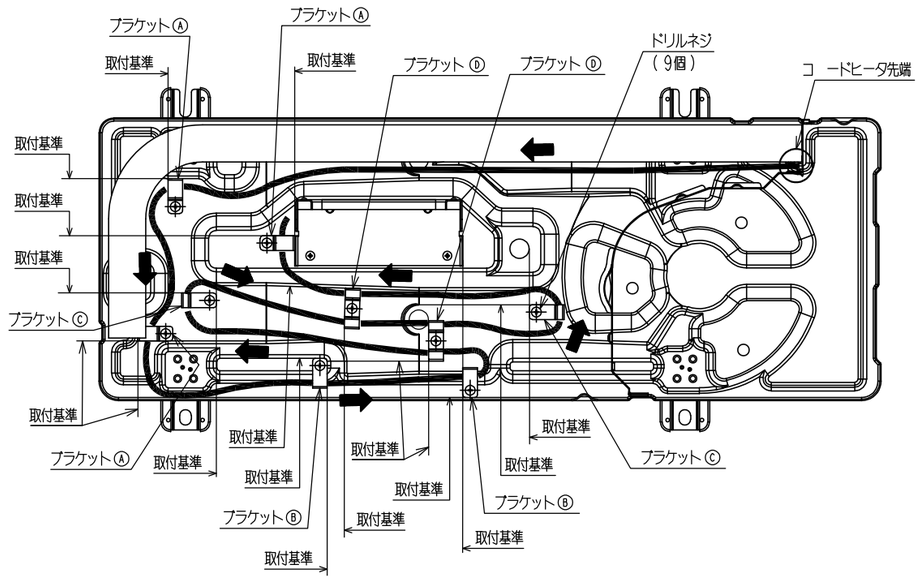


図3. FDCZP405～635H,HA 、FDCVP405～635H,HA、FDCVP805HB

5.コードヒータの固定

①コードヒータの余り（非発熱部2.2m）は、モータブラケット左側の柱に沿って立ち上げ、
　モータブラケット上面を経由し、右側の柱に沿って下ろし引き回してください。（図4）
②モータブラケット左側の柱で付属品のバンドを使用し、コードヒータを固定してください。（図4）
　コードヒータがプロペラファンと接触しないように注意し、緩みなく固定してください。
③モータブラケット上面でテープ（現地調達）を使用しコードヒータを留めてください。（図5）
④バッフルプレートにブラケットⒺをドリルねじで取り付けてください。（図4）
⑤コードヒータの外気温度サーモをブラケットⒺにタッピンねじで取り付けてください。（図6）
⑥ブラケットⒺを固定した後に飛び出したドリルねじが配線に接触しないように、図5のようにインシュレーション
　をねじ部にかぶせて取り付けてください。
⑦モータブラケットにドリルねじを使用し、付属品の板クランプを図5の位置に取り付けてください。
　余ったコードヒータをモータブラケットに取り付けた板クランプを使用し、図5のように固定してください。
　板クランプで固定した後、コードヒータをモータブラケットに沿って立ち上げ引き回してください。
　立ち上げたコードヒータはファンモータ配線を固定する板金爪でファンモータ配線とともにコードヒータを
　固定してください。（図8）
⑧ファンモータ配線に沿わして仕切板上部の切り欠き部を通し、コードヒータ用電源線を端子部まで引き回して
　ください。（図9）

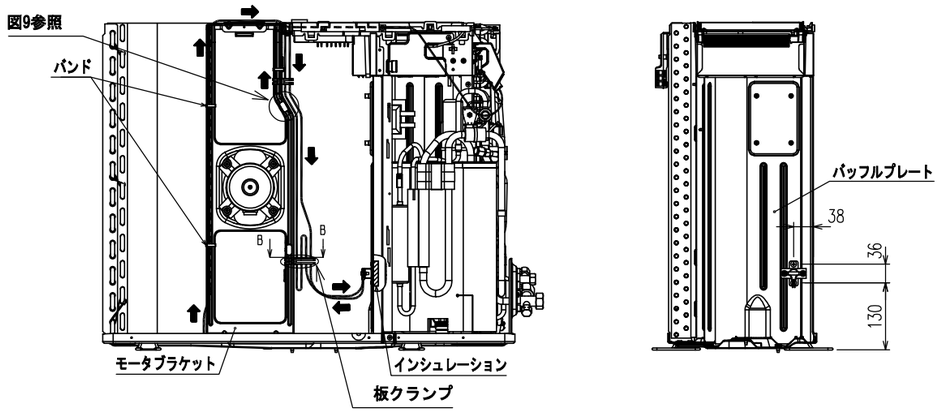


図4. FDCZP405～635H,HA　、FDCVP405～635H,HA、FDCVP805HB

図5

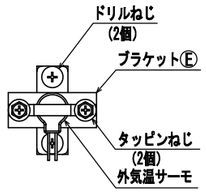


図6

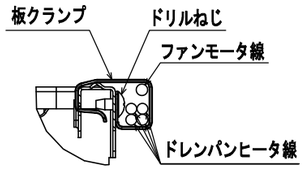


図7 B-B

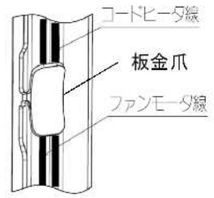


図8

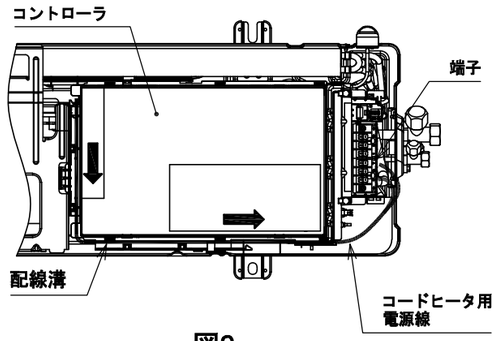


図9

（裏面へ）

6. 電源線の接続

⚠ 配線接続時の注意

・配線は所定の電線を使い確実に接続し、端子部に外力が加わらないように固定してください。接続や固定に不備があると火災の原因になります。
・端子ねじの締付けには、適正なドライバーを使用してください。
不適正なサイズのドライバーはねじ頭部を傷め、適正な締付けができません。
・端子ねじを締付けすぎるとねじを破損する恐れがあります。
端子ねじの締付トルクは右表を参照してください。

締付トルク（N・m）		
M4	端子台	1.2～1.6
M5		2.0～2.4
M8		6.3～10.3

・コードヒータの丸形端子を端子台に接続してください。
・3相機の場合は図10に従い端子台RとTに、単相機の場合は図11に従いL1とL2に接続してください。
※端子の向きは必ず図12のように取付けてください。

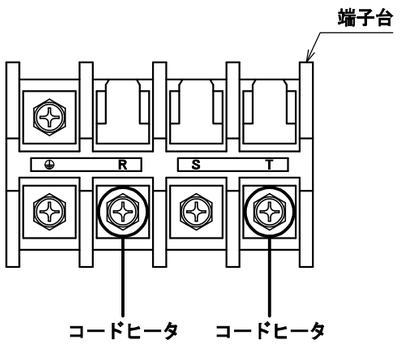


図10

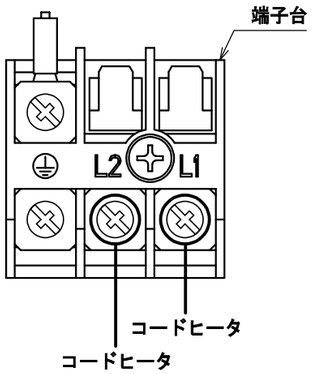


図11

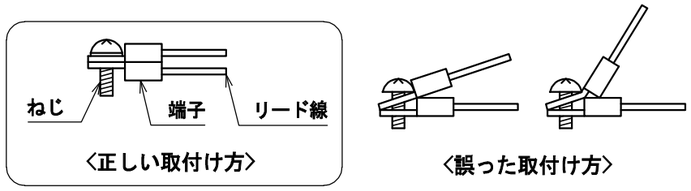


図12

7. 再組立

・<u>ドレンパンヒータの取付</u>および<u>コードヒータの接続</u>が確実に行われていることを<u>必ず確認してください</u>。
①プロペラファンの取付け
プロペラファンをナットで取付けてください。（締付トルク：1.6～1.9N・m）
※コードヒータがプロペラファンに接触しないことを確認してください。
②取外したフロントパネル、トップパネルを分解時の逆の手順で取付けてください。

⚠ 警告

室外ユニットのパネルを確実に取付けてください。不備があるとほこり、水などにより感電・火災の原因になります。

8. 試運転

①コードヒータを通電する前に絶縁抵抗値が1MΩ以上であることを確認してください。
※絶縁抵抗値はコードヒータ接続用端子T(N)側とユニットアース接続端子間をDC500Vメガテスターで測定してください。
②サービスパネルを取付けてください。
③電源を投入し、コードヒータが温まることを確認してください。
※室外ユニットの斜線部付近を底面から触って確認してください。（図13）
※外気温度が高い時、コードヒータに通電されませんが異常ではありません。
（サーモ動作：2℃でON、8℃でOFFします。）

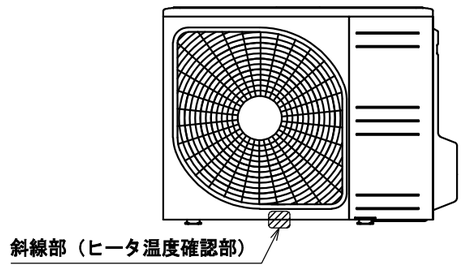


図13

9. 注意銘板の貼付け

室外ユニットのサービスパネルの段差を避けて見やすい位置に付属の注意銘板を貼付けてください。（図14）
（図14はFDCVP405Hを示します。他機種の場合も同様に貼付けてください。）

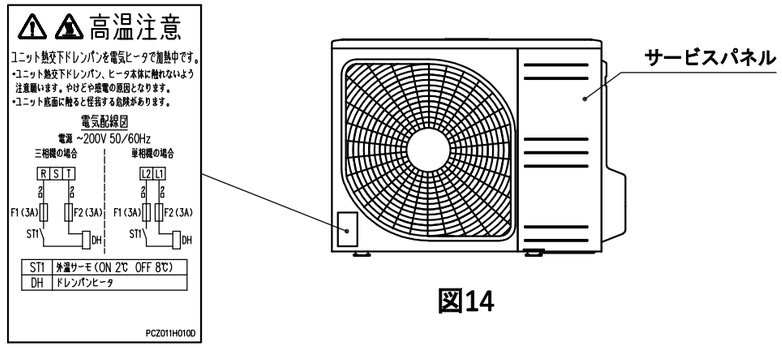


図14

MA01128 A

ドレンパンヒータ取付説明書

品番	適用機種
HA08068	FDCZP80～280　5 FDCVP80, 224, 280　5

※取付前に本説明書をよくお読みください。

取付工事は、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

・ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠ 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります

・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、本書はお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

・取付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事部品は必ず付属品および指定の仕様部品を使用してください。
指定の仕様部品を使用しないと、ユニットの落下・水漏れ・感電・火災などの原因になります。
・電気工事は、電気工事士の資格のある方が電気事業法・電気設備に関する技術基準・内線規程JEAC8001（最新のもの）および取付説明書に従って施工し、電線の継ぎ足しはしないでください。
施工不備があると、感電・火災などの原因になります。
・漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電・火災の原因になります。
・電気部品に触れる前に電源を遮断してください。
充電部に触れると、感電の危険があります。
・室内外ユニット間および電源の配線は、サービスふたなど構造物が浮き上がらないよう電線を整形し、ふたおよび外板を確実に取付けてください。
ふたおよび外板の取付けが不完全な場合、感電・火災などの原因になります。
・配線は、所定の電線を使用し、端子接続部に電線の力が加わらないよう確実に接続・固定してください。
接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災などの原因になります。
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
感電などの原因になります。

⚠注意

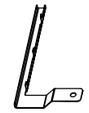
次のような場所への設置は行わないでください。
・鉱物油が立ち込めたり、調理場など油の飛散や蒸気の多い場所
樹脂部品が劣化し、部品の落下や水漏れの原因になることがあります。
・亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所、酸・アルカリ性蒸気の立ち込める場所および海兵地区など塩分の多い場所
銅管・ろう付部が腐食し、冷媒もれの原因になることがあります。
・電磁波を発生する機械がある場所および工場など電圧変動の多い場所
制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
・可燃性ガスのもれるおそれのある場所、カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊する場所、シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取扱う場所および車両・船舶など
万一ガスがもれてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
・小動物のすみかになるような場所、落ち葉が堆積する場所および雑草が生い茂る場所
侵入した小動物が内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

取付前に

・本製品は、デフロスト後のドレン水の凍結を防止するためドレンパンのドレン抜き穴の氷結およびドレン排水不良を防ぎドレン根氷による熱交換器潰れを防止します。
・降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御(寒冷地対応)を適用してください。
・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよびドレン集中排水キットとの併用はできません。
・漏電遮断器が取付けてあることを必ず確認してください。
漏電遮断器が取付けられていないユニットでの本製品の使用はできません。
・漏電遮断器は必ず高調波対応品を使用してください。
（本機はインバータ装置を備えています。漏電遮断器自体の誤作動を防止するため高調波対応品を使用してください。）

1. 部品の確認

下記の付属品が必要数同梱されていることをご確認ください。

コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	熱交下部ブラケット	板クランプ	ドリルねじ
1個	3個	3個	3個	1個	 1個	1個	11個
バンド	注意銘板	取付説明書					
10個	1枚	1枚					

2. 取付準備

※ドレンパンヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行っていただく方が容易にできます。
室外ユニット本体の据付説明書もあわせて参照してください。
・室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
・ドレンパンヒータ取付け部は、ホコリ、ゴミ、水分等の除去を充分に行ってください。
・熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ドレンパンヒータ組込準備

次の手順で図1に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。
取外した部品は損傷させないように、また固定ねじは紛失しないように保管してください。
（図1はFDCZP805を示します。
他機種の場合も同様に取外してください。）

①サービスパネルの取外し
サービスパネル取付ねじを外し、下側にスライドさせてから取外してください。
②トップパネルの取外し
トップパネルの取付ねじを外し、上側に持ち上げて取外してください。
③フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ねじを外し、前側に引き出して取外してください。
④プロペラファンの取外し
プロペラファンのナットを外し、前側に引き出して取外してください。
（2ファンの場合は、下段のみ取外してください。）
⑤モータブラケットの取外し
（FDCZP1125～2805、FDCVP2245, 2805の場合）
モータブラケットのベース取付ねじを外し、モータブラケット上部の外温サーモ（室外機付属）の配線固定用テープを剥し、断線しないように注意してモータブラケットを上側に持ち上げて取外してください。（図6）

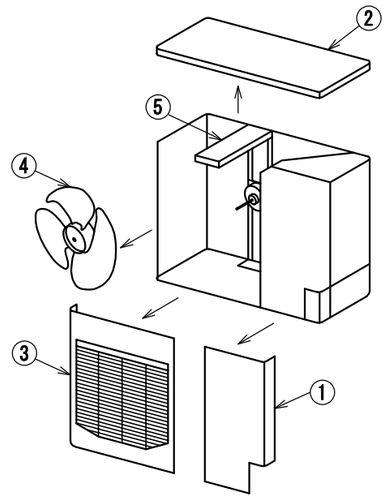


図1

（裏面へ）

4. ドレンパンヒータの取付け

①ヒータの仕様

・AC200V 115W

・全長4.5mのうち発熱部は先端から2.3mまで

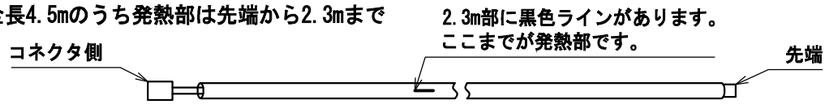


図2

・ON-OFF動作（参考）

ヒータは室外機制御基板からの電源により以下のようにON-OFFします。

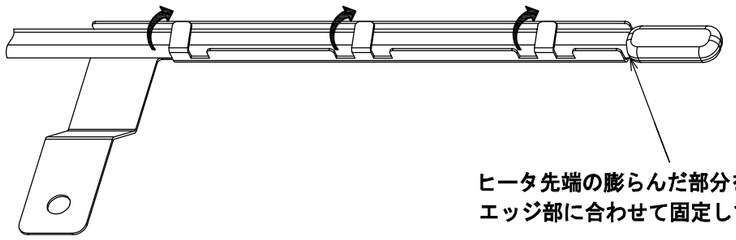
ON条件 ・・・暖房モードかつ外気温3℃以下かつ圧縮機運転中。

OFF条件・・・外気温5℃以上または圧縮機停止時間が30分連続した時または冷房・除湿モード。

②ブラケットのヒータへの取付け

・下図にしたがってヒータ先端を熱交下部ブラケットに取り付けてください。

・ヒータ取付け後、ヒータが脱落しないようにブラケットの爪を内側に折り曲げてください。
爪を折り曲げる際にはヒータが傷つかないようにしてください。



ヒータ先端の膨らんだ部分をブラケット先端の
エッジ部に合わせて固定してください。

③ヒータの取付け

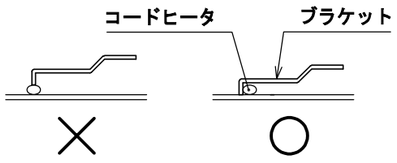
・コードヒータをレイアウト図（図3、4、5）に従って➡で示す経路で取付けてください。
ガムテープ等でコードヒータを仮止めしながらの作業をお奨めします。

・ヒータを熱交下部ブラケットに固定した状態で、ブラケットを熱交下部に差し込み固定してください。

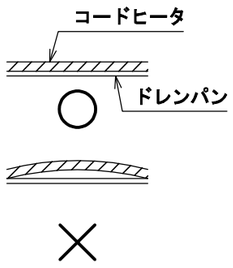
・以後、図に示す位置にドリルねじを使用して付属ブラケットでコードヒータをドレンパンに固定します。

⚠注意

(1) ブラケットは下図のようにコードヒータをはさまないようにコードヒータを固定してください。



(2) 平面部がドレンパンに触れるように固定してください。



(3) 曲げ部分では、平面部で固定し易いようにひねって固定してください。

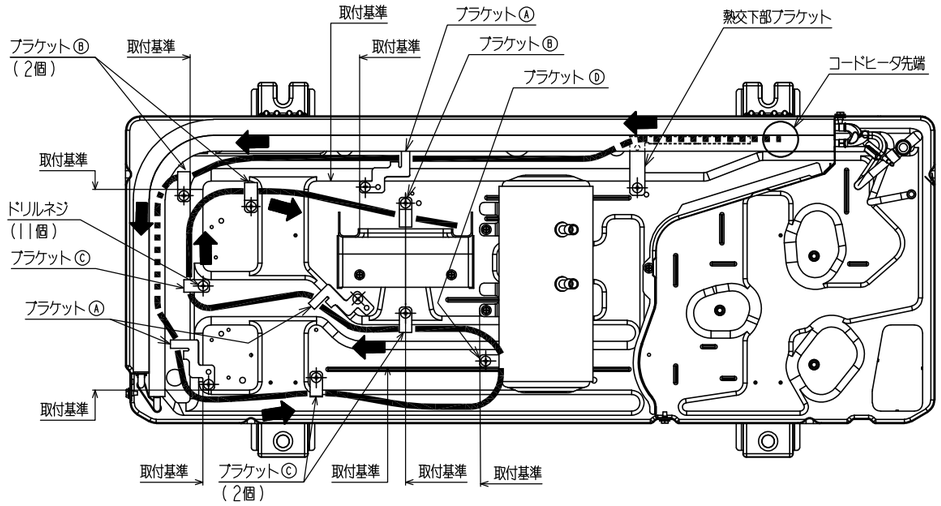


図3. FDCZP805、FDCVP805

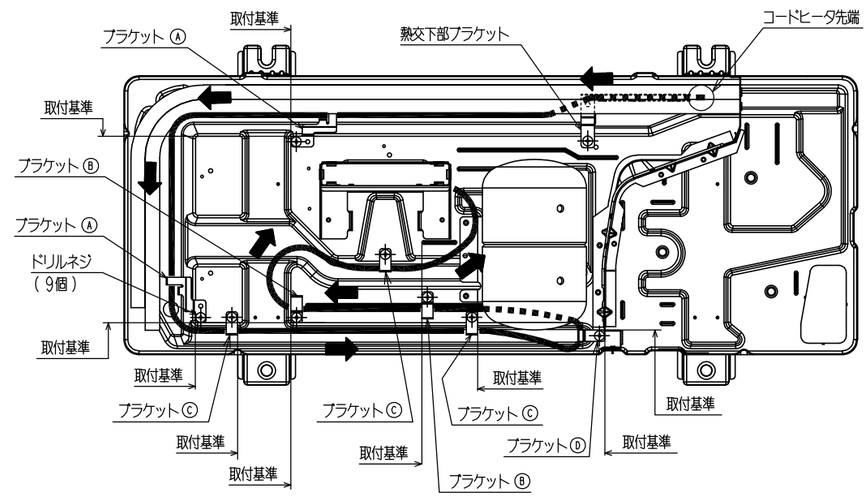


図4. FDCZP1125～1605

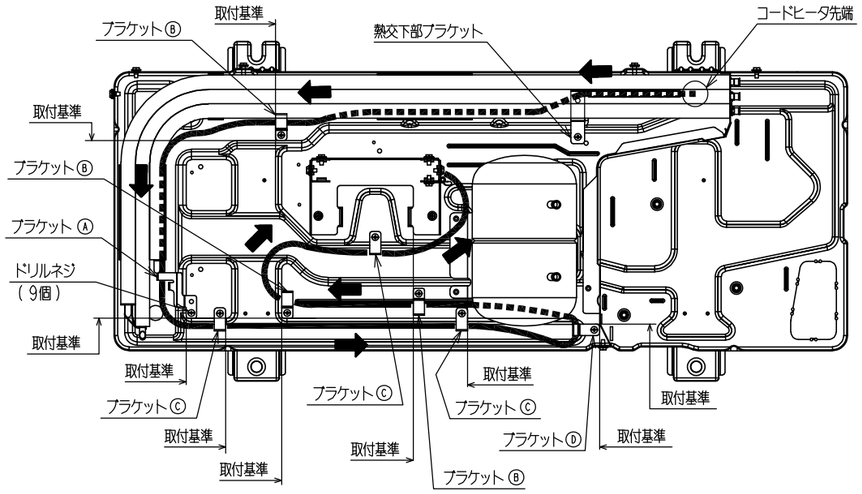


図5. FDCZP2245,2805 、FDCVP2245,2805

④FDCZP1125-2805、FDCVP2245, 2805は、
取外したモータブラケットを取付けて
外温サーモ(室外機付属)の配線を
テープで元通りに貼付けてください。（図6）

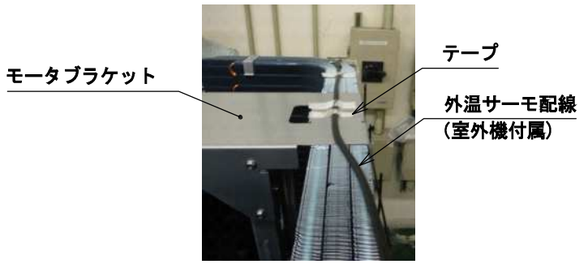


図6

5. コードヒータの固定

①コードヒータの余り（非発熱部2.2m）は、モータブラケットに沿って立ち上げ、引き回しをしてください。（図7）
ファンモータ配線を固定する板金爪でファンモータ配線とともにコードヒータを固定してください。（図8）
コードヒータとファンモータ配線がプロペラファンと接触しないように注意し、緩みなく固定してください。
②FDCZP805、FDCVP805の場合、ファンモータ配線に沿わして仕切板上部の切り欠き部を通し
基板のCNN1コネクタに差し込んでください。（図7、9）
③余ったコードヒータはコントローラ近傍で付属のバンドで固定してください。（図7）

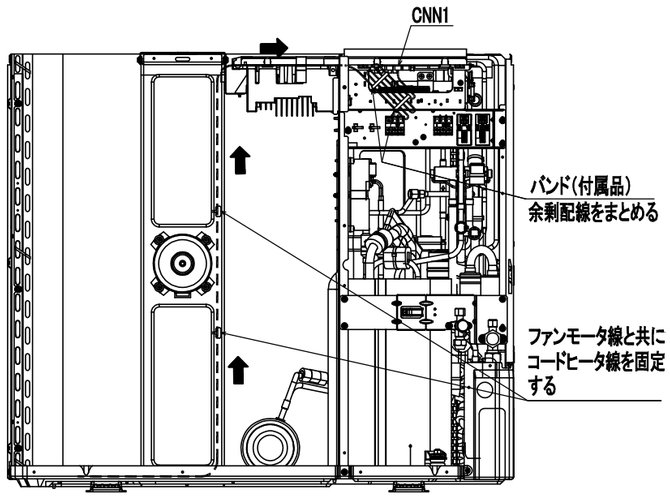


図7. FDCZP805、FDCVP805

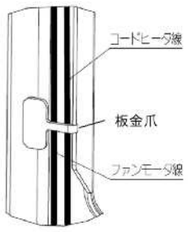


図8

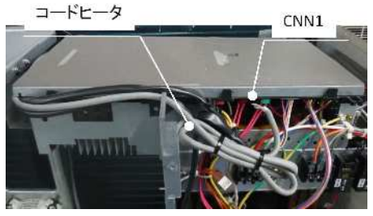


図9

④ FDCZP1125～1605の場合、コードヒータの余り（非発熱部2.2m）は、モータブラケットに沿って立ち上げ、引き回しをしてください。（図10）
ファンモータブラケット下部の位置にドリルねじを使用して板クランプ（付属品）でコードヒータを固定してください。（図11）
ファンモータブラケット中央の位置でファンモータ配線を固定する板クランプを使用してファンモータ配線とともにコードヒータを固定してください。（図12）
コードヒータとファンモータ配線がプロペラファンと接触しないように注意し、緩みなく固定してください。
⑤ファンモータ配線に沿わしてグロメットを通し基板のCNFコネクタに差し込んでください。（図10、13）
⑥余ったコードヒータはコントローラ近傍で付属のバンドで固定してください。（図10）

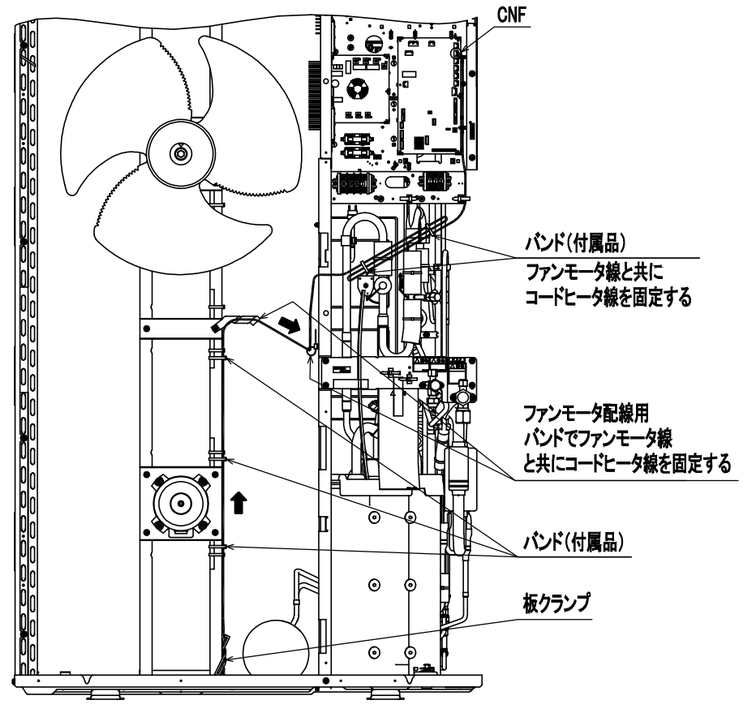


図10. FDCZP1125～1605

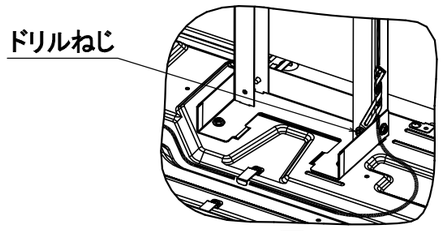


図11

図12

図13

⑦ FDCZP2245,2805、FDCVP2245,2805の場合、コードヒータの余り（非発熱部2.2m）は、モータブラケットに沿って立ち上げ、引き回しをしてください。（図14）
ファンモータブラケット下部の位置にドリルねじを使用して板クランプ（付属品）でコードヒータを固定してください。（図15）
ファンモータブラケット中央の位置でファンモータ配線を固定する板クランプを使用してファンモータ配線とともにコードヒータを固定してください。（図16）
コードヒータとファンモータ配線がプロペラファンと接触しないように注意し、緩みなく固定してください。
⑧ファンモータ配線に沿わせてグロメットを通し、コントローラ下部2箇所のバンド及びクリップで既存配線と共に固定してください。（図14,17）
⑨余ったコードヒータは仕切り板付属のバンドでファンモータ配線と共に緩みなく固定してください。（図18）

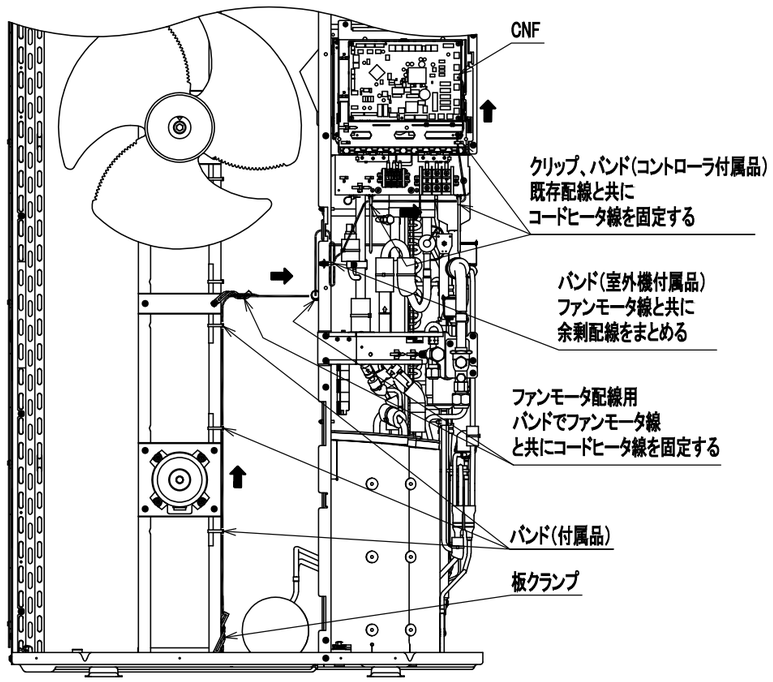


図14. FDCZP2245,2805、FDCVP2245,2805

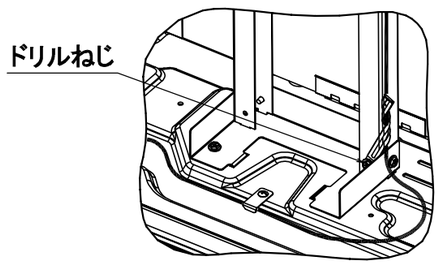


図15

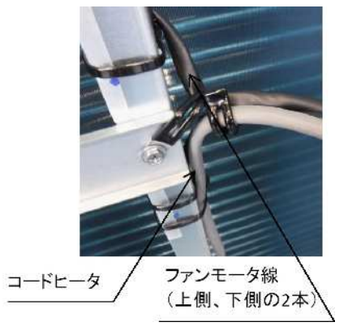


図16

図17

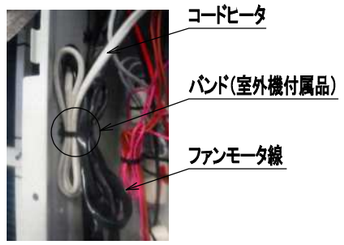


図18

6. 再組立

・ドレンパンヒータの取付およびコードヒータの接続が確実に行われていることを必ず確認してください。

①プロペラファンの取付け
プロペラファンをナットで取付けてください。（締付トルク右表参照）
※コードヒータがプロペラファンに接触しないことを確認してください。

締付トルク（N・m）	
80～280形	4.7～5.1

②取外したフロントパネル、トップパネルを分解時の逆の手順で取付けてください。

⚠ 警告

室外ユニットのパネルを確実に取付けてください。不備があるとほこり、水などにより感電・火災の原因になります。

7. 試運転

①コードヒータを通電する前に絶縁抵抗値が1MΩ以上であることを確認してください。
※絶縁抵抗値はコードヒータ接続用端子T(N)側とユニットアース接続端子間をDC500Vメガテスターで測定してください。
②サービスパネルを取付けてください。
③電源を投入し、コードヒータが温まることを確認してください。
※室外ユニットの斜線部付近を底面から触って確認してください。（図19）
※外気温度が高い時、コードヒータに通電されませんが異常ではありません。
（サーモ動作：3℃でON、5℃でOFFします。）

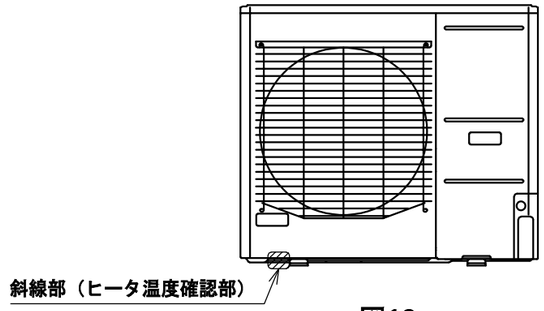


図19

8. 注意銘板の貼付け

室外ユニットのサービスパネルの見やすい位置に付属の注意銘板を貼付けてください。（図20）
（図20はFDCZP805を示します。他機種の場合も同様に貼付けてください。）

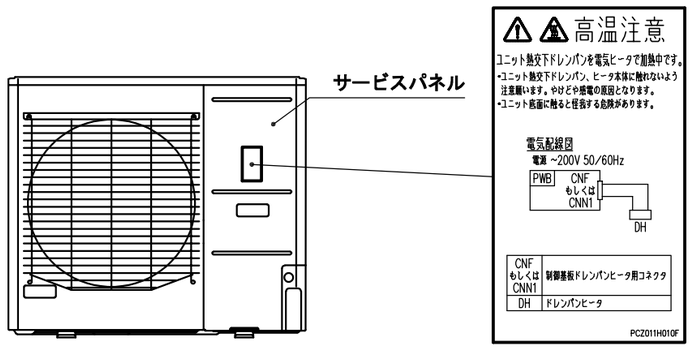


図20

MA01129 A

ドレンパンヒータ取付説明書

品番	適用機種
HA08069	FDCVP1125HA FDCVP1405HA FDCVP1605HA

※取付前に本説明書をよくお読みください。

取付工事は、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

・ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠ 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります

・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、本書はお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

・取付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事部品は必ず付属品および指定の仕様部品を使用してください。
指定の仕様部品を使用しないと、ユニットの落下・水漏れ・感電・火災などの原因になります。
・電気工事は、電気工事士の資格のある方が電気事業法・電気設備に関する技術基準・内線規程JEAC8001（最新のもの）および取付説明書に従って施工し、電線の継ぎ足しはしないでください。
施工不備があると、感電・火災などの原因になります。
・漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電・火災の原因になります。
・電気部品に触れる前に電源を遮断してください。
充電部に触れると、感電の危険があります。
・室内外ユニット間および電源の配線は、サービスふたなど構造物が浮き上がらないよう電線を整形し、ふたおよび外板を確実に取付けてください。
ふたおよび外板の取付けが不完全な場合、感電・火災などの原因になります。
・配線は、所定の電線を使用し、端子接続部に電線の力が加わらないよう確実に接続・固定してください。
接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災などの原因になります。
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
感電などの原因になります。

⚠注意

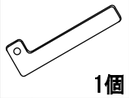
次のような場所への設置は行わないでください。
・鉱物油が立ち込めたり、調理場など油の飛散や蒸気の多い場所
樹脂部品が劣化し、部品の落下や水漏れの原因になることがあります。
・亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所、酸・アルカリ性蒸気の立ち込める場所および海兵地区など塩分の多い場所
銅管・ろう付部が腐食し、冷媒もれの原因になることがあります。
・電磁波を発生する機械がある場所および工場など電圧変動の多い場所
制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
・可燃性ガスのもれるおそれのある場所、カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊する場所、シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取扱う場所および車両・船舶など
万一ガスがもれてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
・小動物のすみかになるような場所、落ち葉が堆積する場所および雑草が生い茂る場所
侵入した小動物が内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

取付前に

・本製品は、デフロスト後のドレン水の凍結を防止するためドレンパンのドレン抜き穴の氷結およびドレン排水不良を防ぎドレン根氷による熱交換器潰れを防止します。
・降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
また使用条件に応じて、防雪ファン制御(SW3-2をON)および除霜制御(SW3-1をON)を適用してください。
・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよびドレン集中排水キットとの併用はできません。
・漏電遮断器が取付けてあることを必ず確認してください。
漏電遮断器が取付けられていないユニットでの本製品の使用はできません。
・漏電遮断器は必ず高調波対応品を使用してください。
（本機はインバータ装置を備えています。漏電遮断器自体の誤作動を防止するため高調波対応品を使用してください。）

1. 部品の確認

下記の付属品が必要数同梱されていることをご確認ください。

コードヒータ	ブラケットⒶ	ブラケットⒷ	ブラケットⒸ	ブラケットⒹ	ブラケットⒺ	ブラケットⒻ	ブラケットⒼ
1個	1個	1個	1個	 1個	1個	1個	1個

ブラケットⒽ	ブラケットⒾ	熱交下部ブラケット	タッピンねじ	ドリルねじ	バンド	注意銘板	取付説明書
1個	2個	1個	M5×10 9個	3個	10個	1枚	1枚

2. 取付準備

※ドレンパンヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行っていただく方が容易にできます。
室外ユニット本体の据付説明書もあわせて参照してください。
・室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
・ドレンパンヒータ取付け部は、ホコリ、ゴミ、水分等の除去を充分に行ってください。
・熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ドレンパンヒータ組込準備

次の手順で図1に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。
取外した部品は損傷させないように、また固定ねじは紛失しないように保管してください。

①トップパネルの取外し
トップパネルの取付ねじを外し、上側に持ち上げて取外してください。

②サービスパネル（上）→（下）の取外し
サービスパネル取付ねじを外し、下側にスライドさせてから取外してください。

③フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ねじを外し、前側に引き出して取外してください。

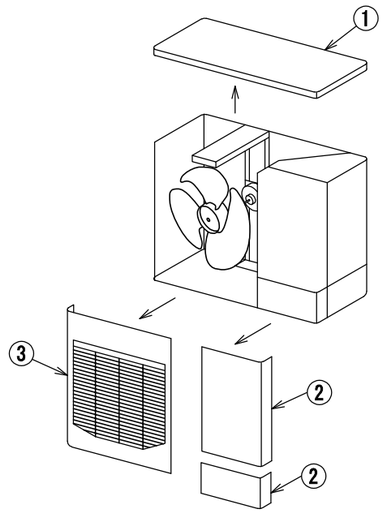


図1

（裏面へ）

4. ドレンパンヒータの取付け

①ヒータの仕様

・AC200V 115W

・全長4.5mのうち発熱部は先端から2.3mまで

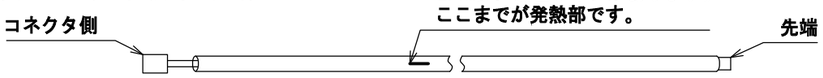


図2

・ON-OFF動作（参考）

ヒータは室外機制御基板からの電源により以下のようにON-OFFします。

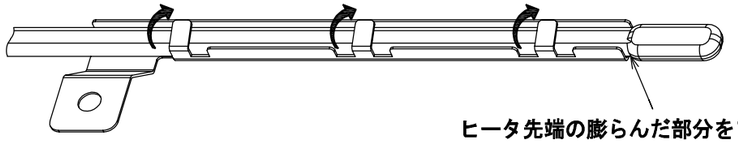
ON条件 ・・・暖房モードかつ外気温3℃以下かつ圧縮機運転中。

OFF条件・・・外気温5℃以上または圧縮機停止時間が30分連続した時または冷房・除湿モード。

②ブラケットのヒータへの取付け

・下図にしたがってヒータ先端を熱交下部ブラケットに取り付けてください。

・ヒータ取付け後、ヒータが脱落しないようにブラケットの爪を内側に折り曲げてください。
爪を折り曲げる際にはヒータが傷つかないようにしてください。



ヒータ先端の膨らんだ部分をブラケット先端の
エッジ部に合わせて固定してください。

③ヒータの取付け

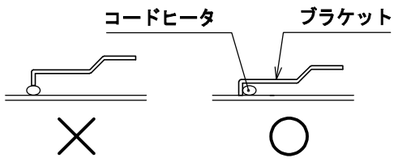
・コードヒータをレイアウト図（図3）に従って➡で示す経路で取付けてください。
ガムテープ等でコードヒータを仮止めしながらの作業をお奨めします。

・ヒータを熱交下部ブラケットに固定した状態で、ブラケットを熱交下部に差し込み固定してください。

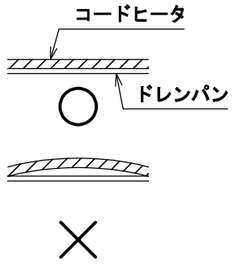
・以後、図3に示す位置にドリルねじあるいはタッピンねじを使用して付属ブラケットでコードヒータを
ドレンパンに固定します。ドリルねじを使用する箇所は★印に示す3カ所になります。

⚠注意

(1) ブラケットは下図のようにコードヒータをはさまないようにコードヒータを固定してください。



(2) 平面部がドレンパンに触れるように固定してください。



(3) 曲げ部分では、平面部で固定し易いようにひねって固定してください。

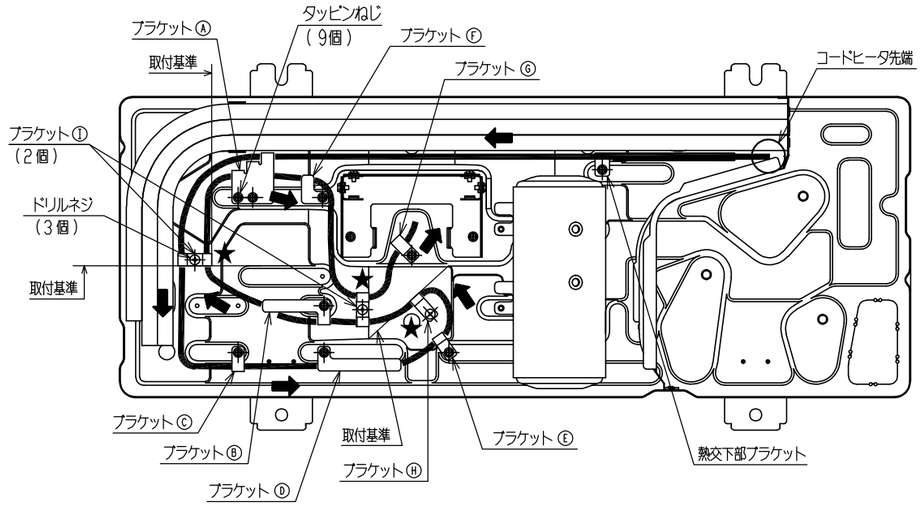


図3. FDCVP1125～1605HA

5. コードヒータの固定

①コードヒータの余り（非発熱部2.2m）は、モータブラケットに沿って立ち上げ、引き回しをしてください。（図4）
ファンモータ配線を固定する板クランプでファンモータ配線とともにコードヒータを固定してください。（図4、5）
コードヒータとファンモータ配線がプロペラファンと接触しないように注意し、緩みなく固定してください。

②ファンモータ配線に沿わして仕切板上部の切り欠き部を通し基板のCNFコネクタに差し込んでください。（図6,7）

③余ったコードヒータは付属のバンドで固定してください。（図.6）

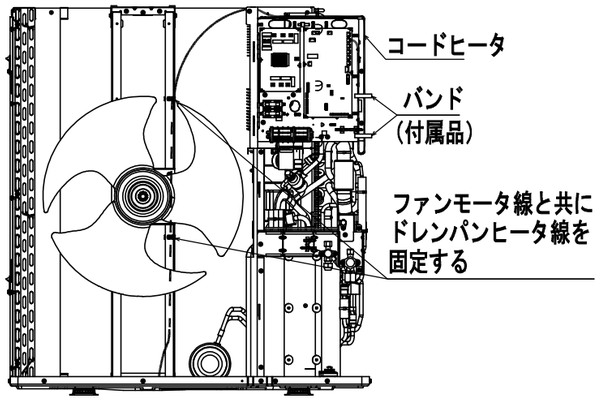


図4

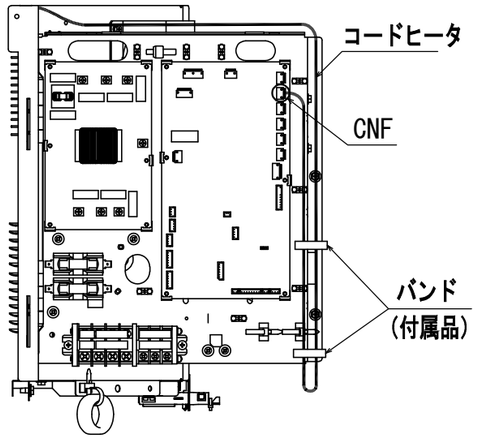


図6

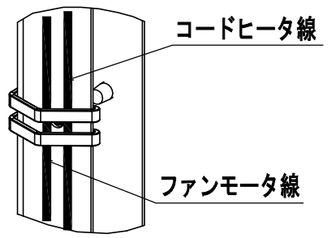


図5

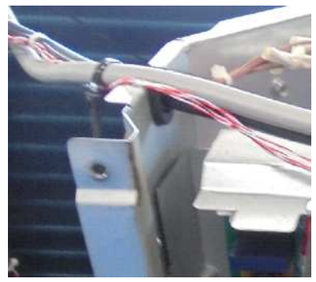


図7

6. 再組立

・ドレンパンヒータの取付および接続が確実に行われていることを必ず確認してください。
取外したフロントパネル、トップパネルを分解時の逆の手順で取付けてください。

⚠ 警告

室外ユニットのパネルを確実に取付けてください。不備があるとほこり、水などにより感電・火災の原因になります。

7. 試運転

①コードヒータを通電する前に絶縁抵抗値が1MΩ以上であることを確認してください。
※絶縁抵抗値はコードヒータ接続用端子T(N)側とユニットアース接続端子間をDC500Vメガテスターで測定してください。
②サービスパネルを取付けてください。
③電源を投入し、コードヒータが温まることを確認してください。
※室外ユニットの斜線部付近を底面から触って確認してください。（図8）
※外気温度が高い時、コードヒータに通電されませんが異常ではありません。
（サーモ動作：3℃でON、5℃でOFFします。）

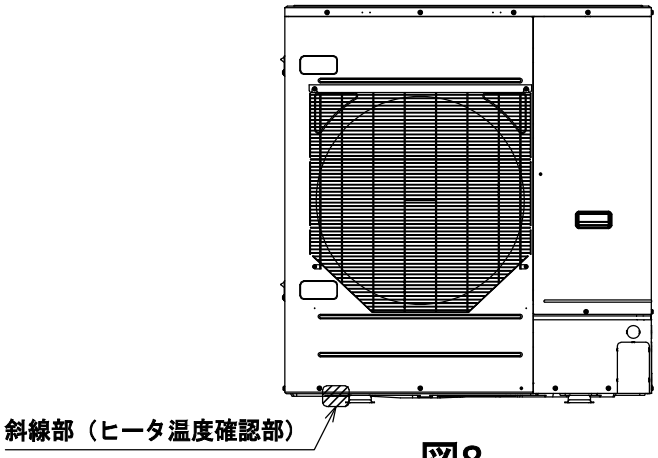


図8

8. 注意銘板の貼付け

室外ユニットのサービスパネルの見やすい位置に付属の注意銘板を貼付けてください。（図9）

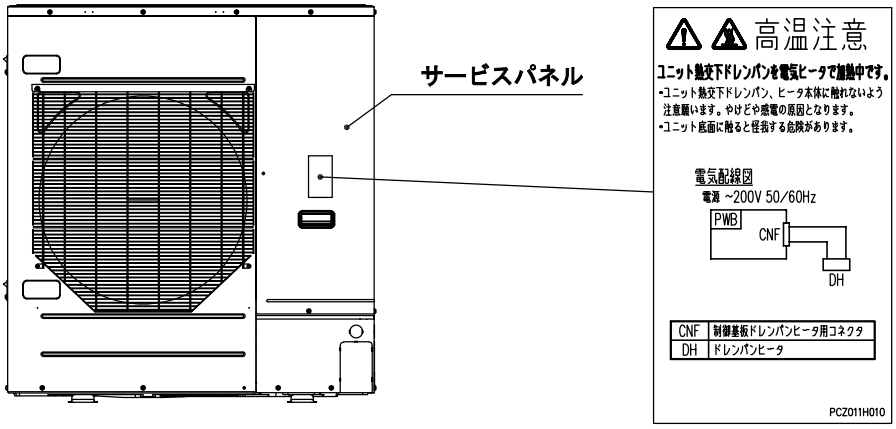


図9

MA01130

ドレンパンヒータ取付説明書

品番	適用機種
HA08070	FDCVP224,280 4 FDCVP224,280 4SX FDCP112～160 4LXAG AUCVP140 4A

※取付前に本説明書をよくお読みください。

取付工事は、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

・ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります

・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、本書はお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

・取付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。
取付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
・取付工事部品は必ず付属品および指定の仕様部品を使用してください。
指定の仕様部品を使用しないと、ユニットの落下・水漏れ・感電・火災などの原因になります。
・電気工事は、電気工事士の資格のある方が電気事業法・電気設備に関する技術基準・内線規程JEAC8001（最新のもの）および取付説明書に従って施工し、電線の継ぎ足しはしないでください。
施工不備があると、感電・火災などの原因になります。
・漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電・火災の原因になります。
・電気部品に触れる前に電源を遮断してください。
充電部に触れると、感電の危険があります。
・室内外ユニット間および電源の配線は、サービスふたなど構造物が浮き上がらないよう電線を整形し、ふたおよび外板を確実に取付けてください。
ふたおよび外板の取付けが不完全な場合、感電・火災などの原因になります。
・配線は、所定の電線を使用し、端子接続部に電線の力が加わらないよう確実に接続・固定してください。
接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災などの原因になります。
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
感電などの原因になります。

⚠注意

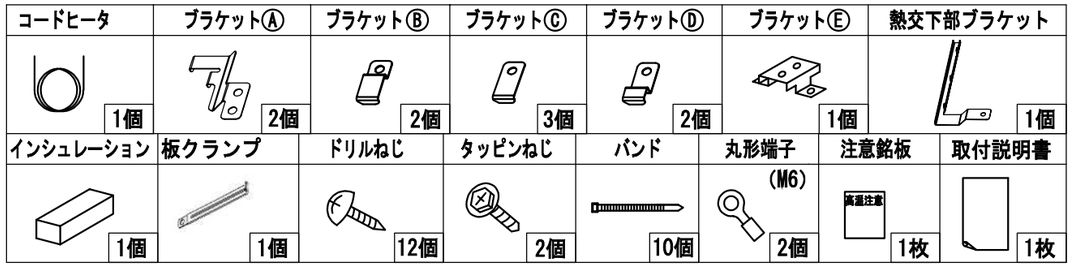
次のような場所への設置は行わないでください。
・鉱物油が立ち込めたり、調理場など油の飛散や蒸気の多い場所
樹脂部品が劣化し、部品の落下や水漏れの原因になることがあります。
・亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所、酸・アルカリ性蒸気の立ち込める場所および海兵地区など塩分の多い場所
銅管・ろう付部が腐食し、冷媒もれの原因になることがあります。
・電磁波を発生する機械がある場所および工場など電圧変動の多い場所
制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
・可燃性ガスのもれるおそれのある場所、カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊する場所、シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取扱う場所および車両・船舶など
万一ガスがもれてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
・小動物のすみかになるような場所、落ち葉が堆積する場所および雑草が生い茂る場所
侵入した小動物が内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

取付前に

・本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
・降雪の多い地域でご使用の際は、防雪フードや高置架台を併設してください。
また使用条件に応じて、防雪ファン制御および除霜制御(寒冷地対応)を適用してください。
・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよびドレン集中排水キットとの併用はできません。
・漏電遮断器が取付けてあることを必ず確認してください。
漏電遮断器が取付けられていないユニットでの本製品の使用はできません。
・漏電遮断器は必ず高調波対応品を使用してください。
（本機はインバータ装置を備えています。漏電遮断器自体の誤作動を防止するため高調波対応品を使用してください。）

1. 部品の確認

下記の付属品が必要数同梱されていることをご確認ください。



2. 取付準備

※ドレンパンヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行っていただく方が容易にできます。
室外ユニット本体の据付説明書もあわせて参照してください。

・室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
・ドレンパンヒータ取付け部は、ホコリ、ゴミ、水分等の除去を充分に行ってください。
・熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ドレンパンヒータ組込準備

次の手順で図1に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。
取外した部品は損傷させないように、また固定ねじは紛失しないように保管してください。
（図1はFDCVP2244HSXを示します。
他機種の場合も同様に取外してください。）

①サービスパネルの取外し
サービスパネル取付ねじを外し、下側にスライドさせてから取外してください。
②トップパネルの取外し
トップパネルの取付ねじを外し、上側に持ち上げて取外してください。
③フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ねじを外し、前側に引き出して取外してください。
④プロペラファンの取外し
プロペラファンのナットを外し、前側に引き出して取外してください。
（2ファンの場合は、下段のみ取外してください。）
⑤モータブラケットの取外し
（FDCVP2244,2804,FDCVP2244HSX,2804HSXの場合のみ）
モータブラケットのベース取付ねじを外し、モータブラケット上部の外温サーモ(室外機付属)の配線固定用テープを剥し、断線しないように注意してモータブラケットを上側に持ち上げて取外してください。（図6）

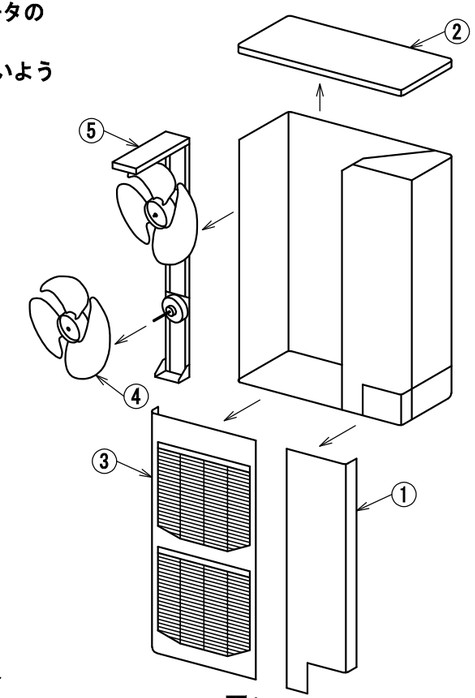


図1

（裏面へ）

4. ドレンパンヒータの取付け

①ヒータの仕様

・AC200V 115W
・全長4.5mのうち発熱部は先端から2.3mまで

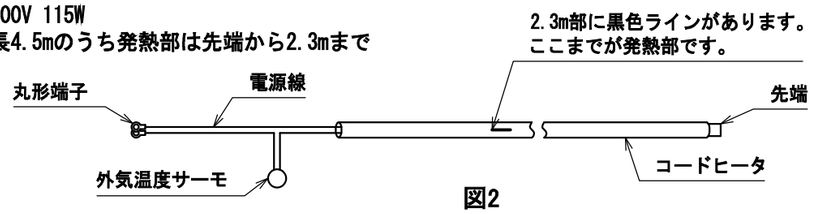
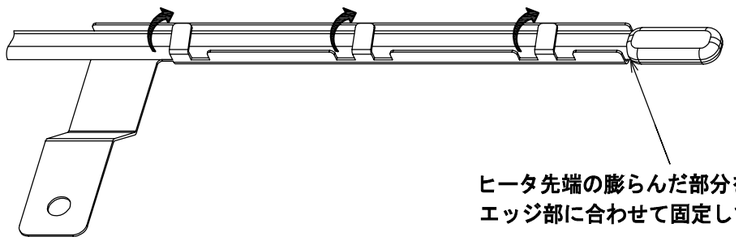


図2

・ON-OFF動作（参考）
ヒータは外気温度サーモが2℃以下で通電し、8℃以上でOFFします。

②ブラケットのヒータへの取付け

・下図にしたがってヒータ先端を熱交下部ブラケットに取り付けてください。
・ヒータ取付け後、ヒータが脱落しないようにブラケットの爪を内側に折り曲げてください。
爪を折り曲げる際にはヒータが傷つかないようにしてください。



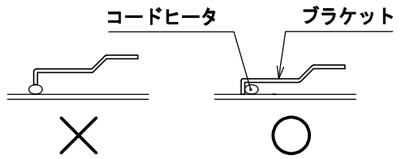
ヒータ先端の膨らんだ部分をブラケット先端の
エッジ部に合わせて固定してください。

③ヒータの取付け

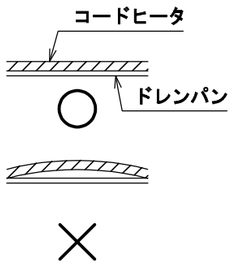
・コードヒータをレイアウト図（図3、4、5）に従って➡で示す経路で取付けてください。
ガムテープ等でコードヒータを仮止めしながらの作業をお奨めします。
・ヒータを熱交下部ブラケットに固定した状態で、ブラケットを熱交下部に差し込み固定してください。
・以後、図に示す位置にドリルねじを使用して付属ブラケットでコードヒータをドレンパンに固定します。

⚠注意

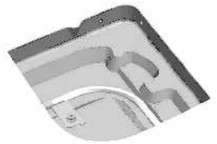
(1) ブラケットは下図のようにコードヒータをはさまないようにコードヒータを固定してください。



(2) 平面部がドレンパンに触れるように固定してください。



(3) 曲げ部分では、平面部で固定し易いようにひねって固定してください。



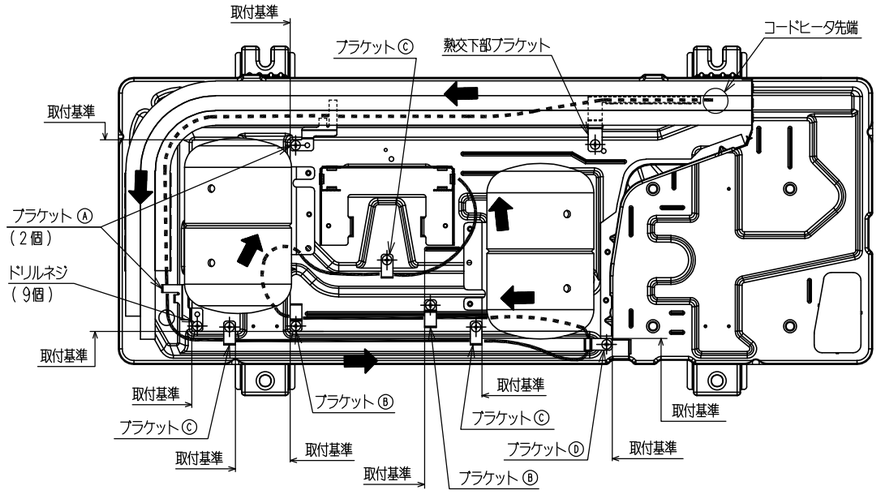


図3. FDCVP2244,2804　FDCVP2244,2804HSX

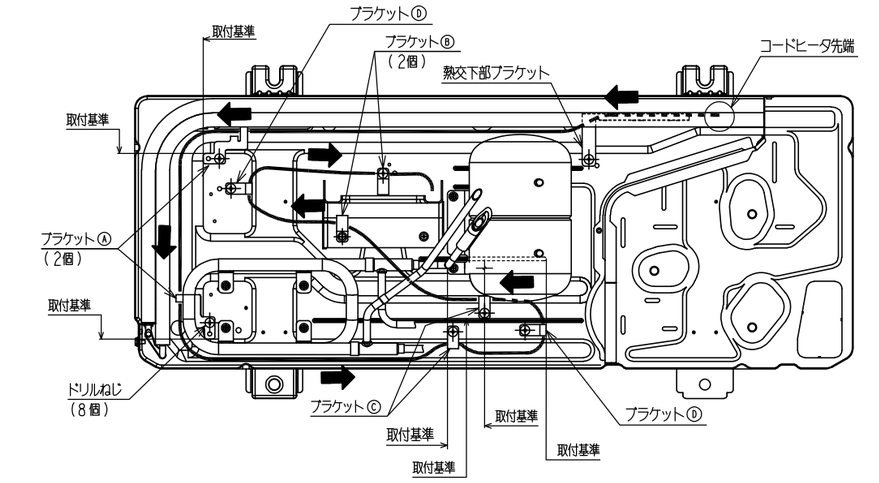


図4. FDCP1124,1404LXAG　AUCVP1404A

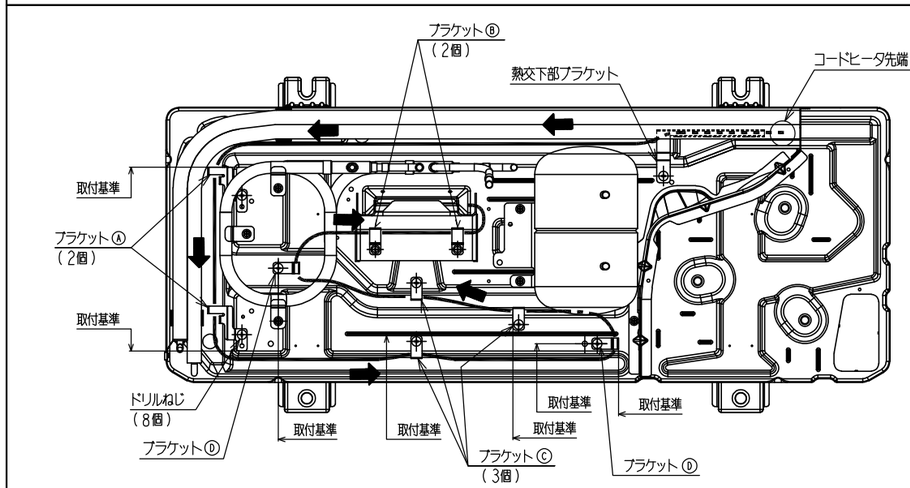


図5. FDCP1604LXAG

④ FDCVP2244, 2804, FDCVP2244, 2804HSXは取外したモータブラケットを取付けてモータブラケットにドリルねじを使用し、付属品の板クランプを図18の位置に取付けてください。余ったコードヒータをモータブラケットにバンドと板クランプを使用し、図7および図19のように固定してください。

⑤ 外温サーモ(室外機付属)の配線をテープで元通りに貼付けてください。(図6)

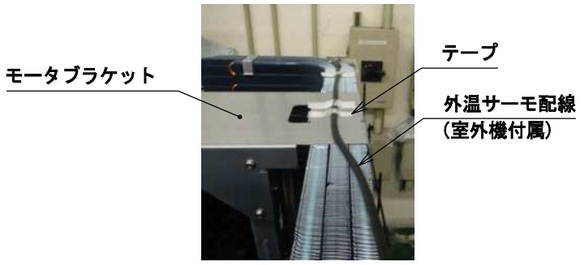


図6

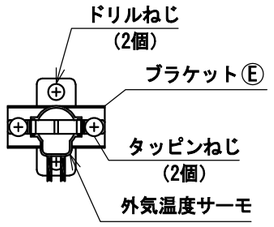


図9

⑥コードヒータ付属の外気温度サーモをブラケットⒺにタッピンねじで取付けてください。(図9)
⑦バッフルプレートに⑥項のブラケットⒺをドリルねじで取付けてください。(図8, 図11, 図13)
⑧ブラケットⒺを固定した後にドリルねじが配線に接触しないよう、図7, 図10, 図12のようにインシュレーションをねじ部にかぶせて取付けてください。

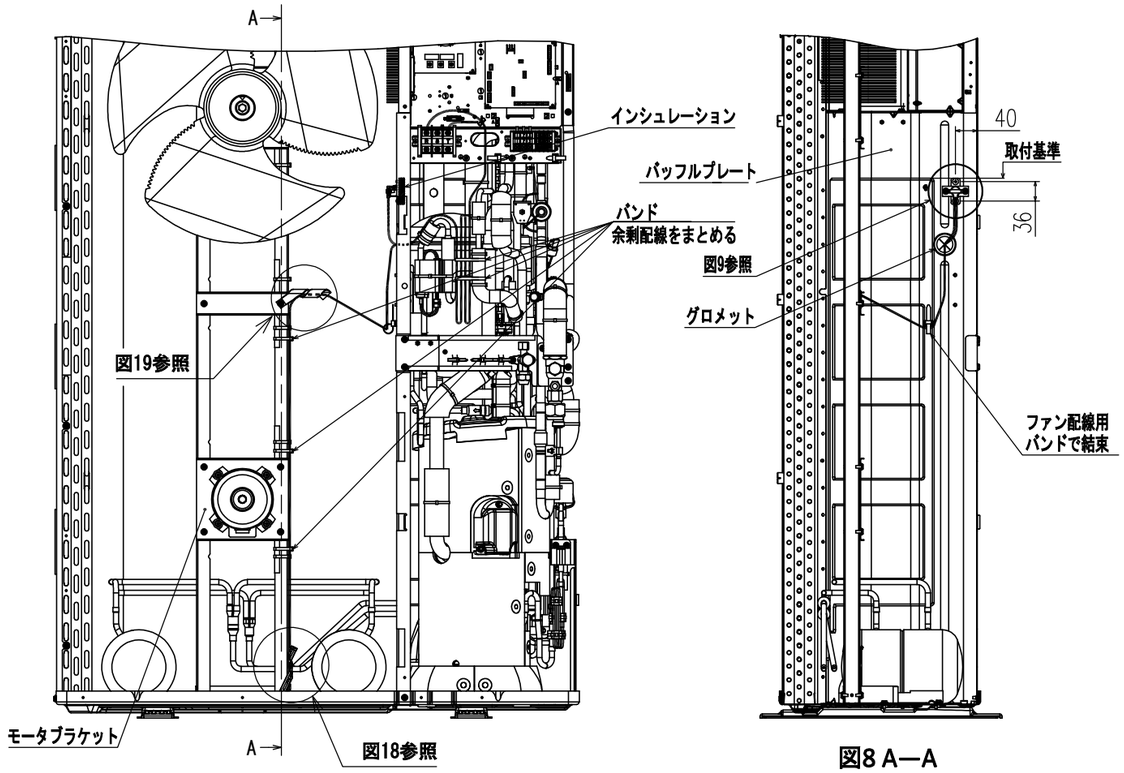


図7. FDCVP2244,2804
FDCVP2244,2804HSX

図8 A—A

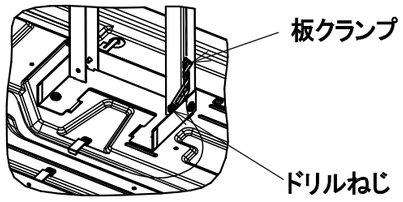


図18

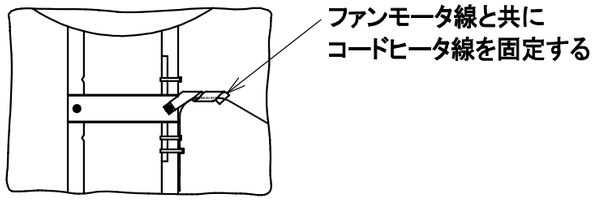


図19

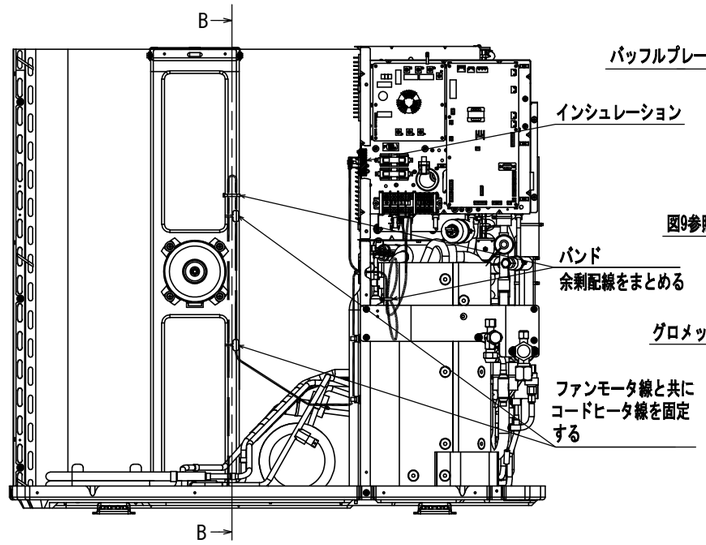


図10. FDCP1124,1404LXAG
AUCVP1404A

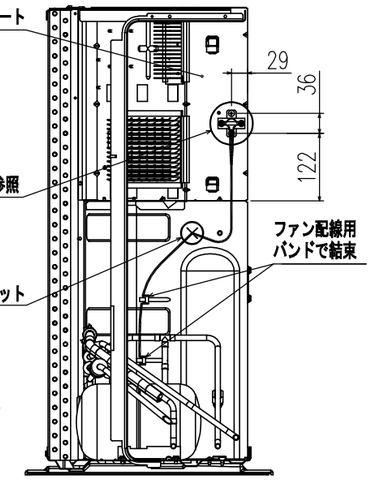


図11 B—B

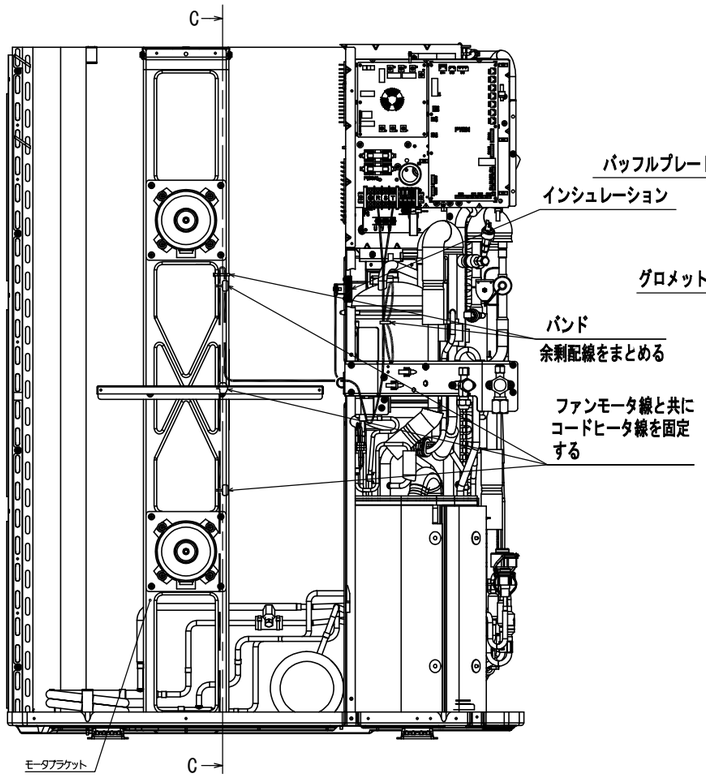


図12. FDCP1604LXAG

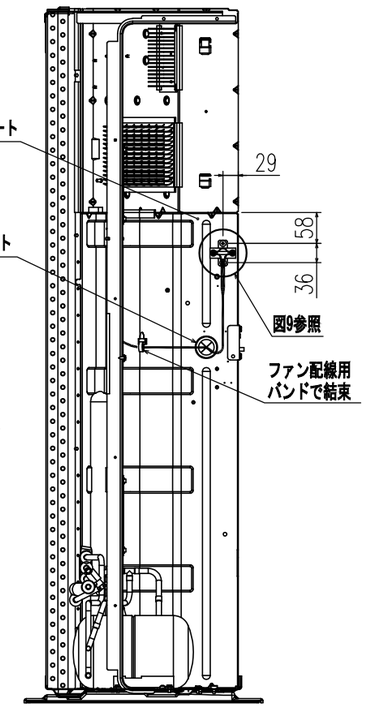


図13 C—C

5. コードヒータ・電源線の固定

①コードヒータの余り（非発熱部2.2m）は、モータブラケットに沿って立ち上げ、モータブラケットに固定してください。コードヒータがプロペラファンに接触しないように注意し、付属のバンドで固定してください。（図7、図10、図12）

②コードヒータ用電源線をバッフルプレートのグロメットに通し、機械室へ引廻してください。その際、バッフルプレート装着のファン配線固定のバンドと共に固定してください。（図8、図11、図13）

6. 電源線の接続

⚠ 配線接続時の注意

・配線は所定の電線を使い確実に接続し、端子部に外力が加わらないように固定してください。接続や固定に不備があると火災の原因になります。
・端子ねじの締付けには、適正なドライバーを使用してください。
不適正なサイズのドライバーはねじ頭部を傷め、適正な締付けができません。
・端子ねじを締付けすぎるとねじを破損する恐れがあります。
端子ねじの締付トルクは右表を参照してください。

締付トルク（N・m）		
M4	端子台	1.2～1.6
M5		2.0～2.4
M6		2.7～3.2

・コードヒータの丸形端子を端子台RとTに接続してください。
※1. 端子の向きは必ず図15のように取付けてください。
※2. FDCVP2244, P2804Hはコードヒータの丸形端子を付属のM6丸形端子に変更してください。

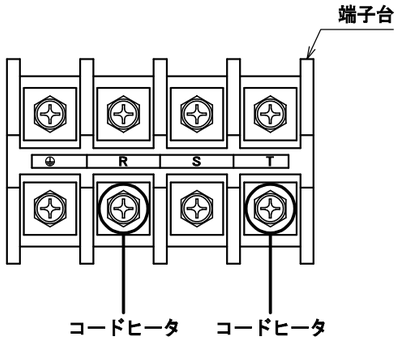


図14

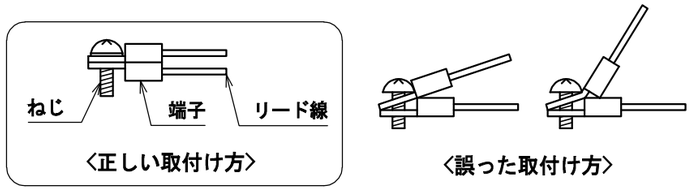


図15

7. 再組立

・ドレンパンヒータの取付およびコードヒータの接続が確実に行われていることを必ず確認してください。
①プロペラファンの取付け
プロペラファンをナットで取付けてください。
※コードヒータがプロペラファンに接触しないことを確認してください。
②取外したフロントパネル、トップパネルを分解時の逆の手順で取付けてください。

締付トルク（N・m）	
112～160形	4.7～5.1
224, 280形	19.3～21.8

⚠ 警告

室外ユニットのパネルを確実に取付けてください。不備があるとほこり、水などにより感電・火災の原因になります。

8. 試運転

①コードヒータを通電する前に絶縁抵抗値が1MΩ以上であることを確認してください。
※絶縁抵抗値はコードヒータ接続用端子T(N)側とユニットアース接続端子間をDC500Vメガテスターで測定してください。
②サービスパネルを取付けてください。
③電源を投入し、コードヒータが温まることを確認してください。
※室外ユニットの斜線部付近を底面から触って確認してください。（図16）
※外気温度が高い時、コードヒータに通電されませんが異常ではありません。
（サーモ動作：2℃でON、8℃でOFFします。）

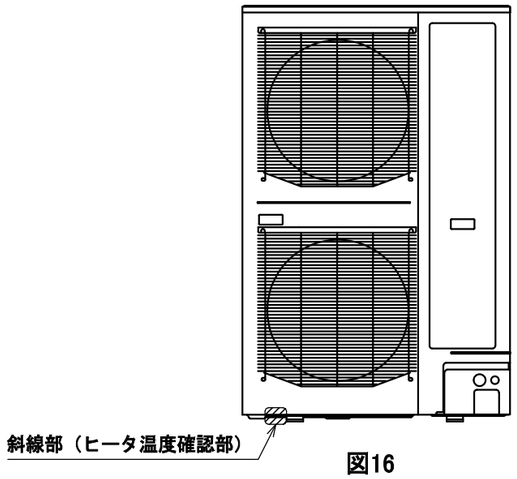


図16

9. 注意銘板の貼付け

室外ユニットのサービスパネルの見やすい位置に付属の注意銘板を貼付けてください。（図17）
（図17はFDCVP2244HSXを示します。他機種の場合も同様に貼付けてください。）

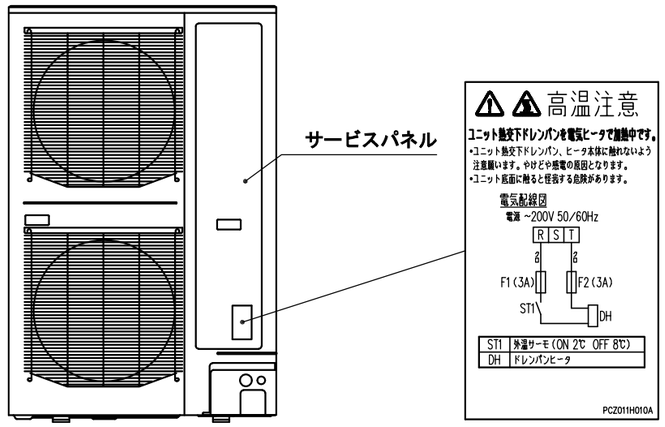


図17